

事務連絡
令和3年4月21日

各 都道府県
市町村
特別区
衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局健康課予防接種室
新型コロナウイルス感染症対策推進本部

新型コロナワクチン接種後の発熱等の症状への対応について

新型コロナウイルス感染症に係るワクチン（以下「新型コロナワクチン」という。）の住民への接種の実施に当たり、今後、新型コロナワクチン接種後の発熱等の副反応を疑う症状について、被接種者が受診を希望する際には、まず、接種した医療機関や、かかりつけの医療機関等に相談することが想定されます。

今般、新型コロナワクチン接種後に副反応を疑う症状で患者が相談した際の対応に当たって、医療機関等にご留意いただきたい事項について、以下のとおりお示ししますので、管内の関係団体及び医療機関に周知いただくよう、お願いいたします。

記

新型コロナワクチン接種後に起こりやすい症状の頻度等について

約2万人の新型コロナワクチンの被接種者を対象として実施した「先行接種者健康調査」の中間報告において、別紙の通り、接種後に生じた症状の頻度等が報告されています。新型コロナワクチン接種後に患者から電話相談があった際の対応に当たって、参考にさせていただくようお願いいたします。

なお、当該中間報告については、厚生労働省の以下のウェブサイトにてお示ししており、今後の分析結果についても当該サイトにお示しする予定です。

厚生労働省ウェブサイト「新型コロナワクチンの接種後の健康状況調査」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_kenkoujoukyoutyousa.html

新型コロナワクチン接種後の発熱等の症状への対応について

新型コロナワクチン接種後に発熱等の症状で患者から電話相談があった際に、新型コロナウイルス感染症を含む、他の疾病との鑑別が必要になることが考え

られます。先行接種者健康調査において得られている知見()を参考に、以下のような状況に応じた対応をお願いいたします。

- ・新型コロナワクチン接種の副反応による症状については必要に応じ解熱鎮痛剤等による症状の緩和を図る。
- ・症状が継続する場合や新型コロナワクチンの副反応としては典型的でない症状がみられる場合には他の疾病を考慮して対応する。
- ・とりわけ、新型コロナウイルス感染症が疑われる場合には必要な検査を実施する、又は検査を実施できる医療機関を紹介する。

()先行接種者健康調査の中間報告において得られた、他の疾患との鑑別に当たって参考になる可能性のある知見

- ・新型コロナワクチン接種後に、発熱・頭痛・倦怠感の症状は、1回目の接種後よりも2回目の接種後の方が高い頻度で報告されている。
- ・新型コロナワクチン接種後の発熱は、接種後翌日までに起こることが多く、その多くは2日間以内に解熱している。
- ・新型コロナウイルス感染症の症状として報告されている、咳や息切れ等の呼吸器症状や、味覚障害・嗅覚障害は、新型コロナワクチン接種後の症状としてはほとんど報告されていない。